

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	医療事務基礎Ⅱ		（TCM122）
講義名（コード）	TCM_医療事務基礎Ⅱ		（TCM122）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	4
授業担当者	日本病院管理教育協会	時間数	60
成績評価教員	日本病院管理教育協会	講義期間	秋学期
実務者教員	松川 慶哉	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	授業の目的（位置づけ） 医療の発展と社会環境の変化に伴い、医事クラーク業務に求められるサービス提供は多岐に亘る。本科では患者中心とするチーム医療において適切なサービス提供に必要な基礎的かつ専門的知識の理解。
全体の内容と概要	医事クラークとして必要な関連法規等から医療行為に伴う基礎的医学一般知識の取得。授業全体の内容と概要 講義中心に、知識理解度を確認するためのテストを行う。
授業時間外の学修	テキスト・プリントの復習を行うこと。
履修上の注意事項等	項目ごとに授業を進める為、欠席すると診療報酬明細書が作成できなくなってしまうので注意する。 電卓を用意すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	医療と社会（医療を取り巻く諸問題）	日本の社会と医療制度について説明。医療職員に求められる能力・接遇などを学ぶ。理解度テスト実施。
2	病院の仕組み（部門組織と機能）（1）	病院の組織図と各部署の役割・機能について学ぶ。事務管理に必要な基礎知識を学ぶ。理解度テスト実施。
3	病院の仕組み（部門組織と機能）（2）	病院の種別、病棟の種別・各病床の施設基準について学ぶ。理解度テスト実施。
4	医療保険制度（1）～保険診療の仕組みと医療保険の種類	日本の医療保険制度と種類について学ぶ。医療保険の法別番号・対象者・給付率を理解する。理解度テスト実施。
5	医療保険制度（2）～保険給付とその内容	保険給付の種類と保険外併用療養費について学ぶ。理解度テスト実施。
6	医療保険制度の概要（3）～療養担当規則・公費負担医療	療養担当規則、公費負担医療の種類と内容について学ぶ。理解度テスト実施。
7	医療法概説（1）	医療法とその変遷について学ぶ。特定機能病院などの種別・基準を覚える。理解度テスト実施。
8	医療法概説（2）と復習	病院の仕組み・保険制度等を振り返る。医療法を踏まえた上で、各種関連法規の補足。
9	医師法	医師の業務や義務、施行規則について解説。
10	その他関係法規（薬剤師法等）	介護保険法について説明。理解度テスト実施。
11	尿・血液検査の臨床的意義（検査目的と病態の理解）	代表的な臨床検査項目の検査方法を理解する。臨床検査項目の検査方法と病態・疾病との関連を学ぶ。（略語含む）
12	生体検査・画像診断検査の受診上の留意と検査目的の理解	生体から得られる生理検査の内容と各種画像診断を理解する。（略語含む）
13	薬の知識（薬の種類、剤形と用法、処方せんの見方）	薬の用法・処方せんの見方について学ぶ。理解度テスト実施。
14	診療録と医療情報（1）	診療録の記載方法POS（POMR方式）とSOAP記載について学ぶ。理解度テスト実施。
15	資格試験対策	全課程を通じた復習と試験対策を行う。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	メディカルシステム論、医師事務作業ワーク・医療情報・病歴管理、医学一般、その他必に応じプリント配布。
参考文献・資料等	診療報酬請求の実務・演習 ・医科診療報酬点数表 ・その他随時プリント配布
備考	